

パブリックコメントによる意見の概要と生駒市教育委員会の回答（案）

資料1(別紙)

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
1	<p>あすか野に居住するものですが、園児数推移のグラフを見て驚愕しています。10年で公立幼稚園の園児数は、全国でも約50%減少、生駒市の他の公立幼稚園も約70%減少のところ、あすか野幼稚園は90%も減少しています。生駒市の減少率が全国に比べて高い理由はどうしてでしょうか。特にあすか野が生駒市でも特段に減少している理由は何なんでしょう。また減少傾向がわかっていて、いかなる対策・改善策が取られてきたのでしょうか。それらのことが明らかにされないまま、園児数が少なくなったので教育効果がないから廃止は納得できません。</p>	<p>本市の幼稚園児の減少については、本市の、共働き世帯の増加により年々保育ニーズが高まっていることなどが要因として考えられます。また、園児数の減少への対策としては幼稚園において預かり保育の拡充等に取り組んできたところですが、少規模な園はメリットもあるとの意見はありますが、就学前教育の場においては適切な規模の集団をつくる必要があることから、今回の基本方針策定となりました。</p>	<p>原案のとおりとします</p>
2	<p>①あすか野幼稚園の方針について ・市の提案では「周辺の園と再編に向けた協議をおこなうこと、これらの協議については保護者との対話を重ねて判断する」とありますが、閉園を前提にされた表現です。閉園が決まっているのですか？ ・なお、「幼稚園の先生や保護者との対話を行なう」とありますが十分行われているのでしょうか？保護者の要望を重視して下さい。 ②幼稚園・保育園は、本来自治体が運営することが基本だと考えます。今回、いくつかの公立が廃園になり、私立になることに反対です。 ・公立幼稚園の先生方の今後の雇用についても、必ず公立での雇用として下さい。</p>	<p>あすか野幼稚園については、園児数が急激に減少していることから、遅くとも令和11年度末を目的に閉園として、周辺園とも協議を行う、としています。また、本基本方針は、こどもの学びや育ちの確保を目的として、教育委員会として方針を示すものですが、再編を推進するにあたっては、先生や保護者のかた、地域のかたのご意見を伺いながら進めていくとしているものです。公私連携幼保連携型認定こども園や、私立保育園分園の誘致につきましては、公募型プロポーザルでしっかりと審査を行い進めます。なお、公立幼稚園の先生方の雇用についてですが、本市で採用された正規職員は、本市の組織内で引き続き活躍いただく予定です。</p>	<p>原案のとおりとします</p>
3	<p>〈なばた幼稚園に民間の保育園の分園を誘致する件について〉 ・同じ敷地内に違う園が全く別の保育理念の下保育を行う事に反対です。園児も保護者も先生方も皆、違和感や不公平感を感じながら運営しなければいけなくなる事が予想されます。説明会では保育士確保が難しい為になばた幼稚園を公立のこども園にする事が難しいと説明を受けましたが、本当に保育士が確保できないのか疑問に思います。㊦分幼稚園も民営化、あすかの幼稚園も廃園となる分、そこで働いていた生駒市の幼稚園教諭をなばた幼稚園に回す事は不可能なのではないでしょうか？なばた幼稚園を公立の幼保連携型なばたこども園にできないか再検討をお願いしたいです。 ・上記のこども園化が無理、やはり民間の保育園を誘致するしか無理な場合にはせめてその誘致条件に下記2点を加えて頂きたいです。 ①なばた幼稚園の園児が一定数在籍する間は3～5歳児の保育はなばた幼稚園単独で行われる事が保証される事。(誘致される分園の園児の年齢は2歳以下で、なばた幼稚園の園児達と年齢が被らない事。) ②分園誘致の為に工事がなばた幼稚園の園児の活動にできるだけ支障がないように行われる事。(㊦分幼稚園のように工事の為になばた幼稚園の園児達が別園舎へ追いやられるような事がない事。) この2点を保証して下さいる園を選出して頂きたいお願い申し上げます。</p>	<p>なばた幼稚園については、現在園児数が減少し、こどもの学びや育ちにかかわる集団性の確保に課題がある状況です。また、近隣で大規模な宅地開発が行われていることから、保育需要が高まる可能性があること、運営コストや保育人材確保、多様なサービスの提供も含め検討した結果、なばた幼稚園は当面存続しつつ、別の運営主体として私立保育園の分園を誘致する方針としています。また、分園の誘致に際しては ①待機児童が多い3歳未満児を受け入れる園とする予定であり、年齢は重なりません。 ②工事は空き教室において実施する予定であり、設置にあたっての工事等についても事業者や幼稚園と協議を行いながら、なるべく保育に影響しない形で進めていきたいと考えています。</p>	<p>原案のとおりとします</p>
4	<p>この件に関するなばた幼稚園での説明会のお知らせがあったのが2日前。しかも朝に開催となると、仕事などの都合をつけることが難しく、私自身も参加できなかった。㊦分幼稚園がなばたで保育する件についての説明会のお知らせも直前で、どちらも大事な話なのに、『たくさんの保護者に聞いてもらい理解を得たい』という思いが全く感じられず、園児保護者の思いは置き去りになっている。 なばた幼稚園の空き教室に私立保育園を分園化して招き入れるとは、具体的にはどういうことなのか？今現在のように一つの園に二つの園が存在するという事なのか？今、2つの公立幼稚園が存在していても厄介なこともあるのに、私立保育園と公立幼稚園では経営主体も保育時間も全く違って来るが、どのように運営していくのか具体的な説明がないと安心できない。説明会では1,2歳児を招き入れるということだったと聞いたが、市の基本方針にはそのことは書かれていないがどうなるのか？調乳室を作る工事をしなくていいように1歳児からの受け入れなのか？幼児も招き入れるとなると、なばたの存続とは名ばかりで、後々私立保育に吸収合併のようになるのでは、と不安感が強い。保護者の声を聞き、具体的な内容を説明し、理解を得ながら検討していくべきだ。㊦分幼稚園との合同保育の件も、㊦分では保護者の意見を聞く場を設けたのに、なばたではそのような場は全くなかった。形ばかりの、決定事項を突然おろされる説明会は反感や不安感を煽るだけである。</p>	<p>なばた幼稚園の私立保育園分園設置については今後検討を進めてまいります。なばた幼稚園児と重ならない年齢となります。市がプロポーザル審査を行い、なばた幼稚園と協力できる事業者を選定することになります。具体的に進めることになりましたら、なばた幼稚園児の保護者や地域の方への説明会も実施したいと考えています。</p>	<p>原案のとおりとします</p>

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
5	<p>なばた幼稚園は緑に囲まれた広い園庭があり、また周辺には学校、住宅地、農地もあって住民との交流も多く地域の中で大切に見守られています。子どもたちが過ごす場所としては素晴らしく環境が整った幼稚園です。公立なばた幼稚園が存在することは、住民にとっても意義は大きく、さまざまな取り組みの中で子どもたちとのふれあいを通し地域の活性化と発展を支えていると言ってもいいと思います。以前に地域協議会が開かれましたが①この幼稚園をなくさないで欲しい。②廃園や統廃合ではなくこども園として存続して欲しい。これが保護者や地域の声で協議会の総意でした。今回、なぜ幼稚園は公立、0～2歳は民間園との市の方針が出されたのか全く理解できません。0～5歳までの子どもたちが同じ場所で別々の運営形態の施設で過ごすことをどのように考え、方針として出してきたのか？保護者、地域への納得のいく説明をぜひしてください。</p>	<p>なばた幼稚園の方針については、なばた幼稚園は園児数が減少し、再編に係る方向性の基準に該当するものの、建物はまだ耐用年数に達していないことや、通園区域内で大規模な宅地開発があり需要が増加することが見込まれること、保育ニーズへの対応や、給食等の保護者ニーズも鑑み、なばた幼稚園を公立園として存続することに併せ私立保育園の分園を設置することを基本方針案としており、幼稚園として当面存続します。</p> <p>この方針により、こどもの育ちや、前述した保護者ニーズにも対応できると考えています。設置主体が違う園が同じ敷地内にあることから、不安な声があることも理解していますが、相互の園児が育ちのために安心安全に交流できるよう、また、相互の保育に良い影響がでるように進めます。</p>	原案のとおりとします
6	<p>(要約抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図1-31により、少子化がはっきりと見て取れます。0歳児を増やす施策はいかなるものか。出産は生駒市でという世論が全国的に広がるような施策が欲しいものです。 ・生駒市ならこどもを持てる、そんな施策とはなにか、施策はあっても実施できない事情があるやなしや、予算面でしょうか、人材でしょうか。 ・(前略)女性の就業人口・就業時間が増えていくのは確実で、これまで以上に保育の必要性が増していきます。これに関して、どのような対策をお考えなのでしょうか。幼稚園再編はこれも加味したものになっているのでしょうか。 ・公立幼稚園に目が向いていないのはなぜか、しっかりした解析・検討がなされているのでしょうか。 ・十分な保育士を確保して0歳から3歳未満のこどもの受け皿をしっかりと確保することは、公立幼稚園児の増加、しいては生駒市の人口増に繋がることとなり、極めて重要なことであり十分な対策を望みます。 ・(送迎について)少々遠くても負担を減らす施策が園児を増やすことになるわけで、例えば「流山方式」的な施策は急務と考えます。 ・「小学校との連携・交流」は、他の施設と比較して、公立幼稚園の満足度・重要度は高く、公立幼稚園の大きな特徴・強みです。この点のアピールはぜひお願いしたいところです。 ・(図1-43)時代の要望に応えるような施策を講じてこられましたか、施策に対する認知度が低いのは辛いところでございます。どのようにして、認知度を上げようとしているのでしょうか。 ・アンケートで満足度が極めて低い駐車場に関しては、保護者にとって切実な願いでしょう。(略)(なばた幼稚園の)近郊の空き地利用はできるか、西側道路は駐車禁止区域ですが、時間的に制限を無くすような処置はできないか、駐車は無理でも停車は出来ますから、例えば、近隣自治会の理解を得るとか、あらゆる方向から、十分な検討をお願い致します。 ・(なばた幼稚園の)今後の方針として同園の空き部屋を活用し、私立保育園を分園化して迎え入れるとのことで、保育園と幼稚園が同敷地内にあることは互いの弱みをカバーできるようで期待できます。(略)なぜ公立でなく私立なのか、他にどのような検討をされたかと言うことです。 	<p>保育需要については、少子化により出生数が減少しているものの、保育ニーズの高まりによって待機児童もいる状況であることから、本基本方針でも第1章5「本市の幼稚園再編の考え方」において増加する保育ニーズへの対応を記載しています。</p> <p>幼稚園の活動については、SNSの活用や地域での回覧をはじめ、商業施設や市役所庁舎において活動掲示を行う等のPRを行っているところですが、預かり保育等の認知度が充分とは言えないことから、他部局とも連携したPR方法についても検討していく予定です。</p> <p>幼稚園での駐車場の整備については1園だけを整備することはできず、現在は通園バスを利用いただくことで対応しています。しかし、私立保育園分園の誘致のためには駐車場は必要な設備でありますので安全面に配慮して検討します。</p> <p>また、私立保育園分園の誘致については、公立保育園では3歳からの本園での受け入れや給食の提供等の一体的な運営が難しいことから民間活力を活用し進めるとしています。</p>	原案のとおりとします
7	<p>どんな保育園になるのかもわからないうちから、申し込みを受け付けるのはおかしい。全て決まってから、関係する年度の園児を公募すべきだともお思います。</p>	<p>(仮称)桜ヶ丘こども園については、桜ヶ丘幼稚園、俵口幼稚園と併せ、ひがし保育園の園児も含め受け入れる前提で検討する必要があり、本パブリックコメント案ができた時点で保護者説明会を開催させていただきました。</p> <p>統合時期については幼稚園の園児数が減少する中、こどもたちの集団性の確保については早急に対応が必要であるため、令和13年4月開園予定としています。</p> <p>この情報についてはできる限り事前にお知らせしますが、保育園はご家庭の事情により、毎月入所の機会があることから、事前にお知らせが行き届かない場合もあります。できる限りホームページ等での事前の周知を図ります。</p> <p>本市では保育ニーズの高まりから待機児童もいる中、募集停止を行うことができないこともあり、このような方針としています。</p> <p>公私連携幼保連携型認定こども園の整備運営事業者の選定については、しっかりと取り組みます。また、事業者の選定については内容が決まり次第、説明をさせていただきます。</p>	原案のとおりとします

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
8	<p>ひがし保育園にて説明会を受けました。説明会でも意見が出ておりましたが、統合の時期を延長してほしいです。また新しいこども園の事業所も決まっていないのと、4月入園の募集をかけた後だったので、あまりに急すぎると思います。</p>	<p>本基本方針については令和7年度に策定を始め、教育委員会の議論を経て、案を作成しました。ひがし保育園の関係者の皆さまについては、本基本方針の案ができた時点で早期にお伝えさせていただきましたが、統合時期については幼稚園の園児数が減少する中、こどもたちの集団性の確保については早急に対応が必要であるため、令和13年4月開園予定としているものです。この情報についてはできる限り事前にお知らせしますが、保育園はご家庭の事情により、毎月入所の機会があることから、事前にお知らせが行き届かない場合もあります。できる限りホームページ等での事前の周知を図ります。また、公私連携幼保連携型認定こども園の整備運営事業者の選定にあたっては公立園の教育・保育を引き継いでいただけるよう丁寧に取り組んでまいります。また、事業者の選定については内容が決まり次第、説明をさせていただきます。</p>	原案のとおりとします
9	<p>現在3人目を妊娠中で、妊娠中の子どもはひがし保育園に入園した場合、年長で桜ヶ丘こども園へ転園を余儀なくされます。その点で2件意見があります。 ○1件目 公立園から私立園になることについて ひがし保育園へ通い始めた理由として、他通園できるすべての保育園へ見学に行きましたが、公立園であることやのびのびした保育をしていること、先生たちと子どもの信頼関係が築けていること、園庭が広いことを理由に決めました。私立の園はそれぞれ特色がありましたが、公立の園とはかなり異なる印象でした。今回、こども園になる際、民間事業者が入ると聞きました。ひがし保育園の先生たちにはとても信頼していますし、正直見学に行った他の私立園の先生の中にはあまり良くない印象の先生もいました。年長という最終学年の時期に、保育園自体だけでなく、先生も変わってしまうというのは子どもの精神的不安も大きいと思います。正職員の先生も数名そのまま引き継げる体制にしてみようことを心から希望します。 ○2件目 園で実施された説明会の時に、ひがし保育園閉園の時期についてお聞きしました。その理由のひとつとしてお聞きしたのが、令和8年度入園の桜ヶ丘幼稚園の子ども達が卒業してから着工するからと聞きました。その理論でいくと、保育園がこども園になることを聞かされずに令和8年度4月一斉入所に出した子どもたちが全て卒業するまで閉園を遅らせて欲しいです。幼稚園の子どもたちは、何も聞かされずに願書を出した子たちまでが卒業できるように配慮されているのにも関わらず、保育園の子どもたちへの配慮がないのが理解できません。不平等です。変更希望を出せると言われても、一度決めた園をすぐに変更するのは困難だと思います。</p>	<p>令和9年度開園の（仮称）壱分こども園では、令和6年度事業者選定が終わった時点から、令和7年度も協議を行い、合同で説明会を行うなどしています。また、令和8年度は新園の先生が壱分幼稚園において引継ぎを受ける予定で進めています。引き続き園の統合については、これまで園が担ってきた教育や保育の質の担保を目的に、行事や地域との関わりも含め、引継ぎを丁寧にやっていく予定です。 （仮称）桜ヶ丘こども園として統合された場合、民間園になることから先生は民間事業者に所属する先生になります。また、統合時期については幼稚園の園児数が減少する中、こどもたちの集団性の確保は早急に対応が必要であるため、令和13年4月開園予定としているものです。この情報についてはできる限り事前にお知らせしますが、保育園はご家庭の事情により、毎月入所の機会があることから、事前にお知らせが行き届かない場合もあります。できる限りホームページ等での事前の周知を図ります。 （仮称）桜ヶ丘こども園の設置運営事業者の募集にあたっては公私連携幼保連携型認定こども園の運営ができる事業者の選定にしっかりと取り組んでまいります。</p>	原案のとおりとします
10	<p>きょうだいを通して、令和8年度の申し込みでひがし保育園の0歳児に申し込みをしました。年長の年に、このままでは桜ヶ丘こども園に通うこととなります。少子化が進み、共働き家庭が増え、幼稚園の需要が減って、保育園児が増えることで、こども園化がやむを得ないことは理解でき、少人数での生活にならないよう、統合が仕方ないこともわかります。しかし、民間に委託するのであれば、どのような事業所が請負のかが決まってから、申し込みを開始すべきではないでしょうか？何も決まっていない(もしくは決まっていますがまだ公開できない)段階で、申し込みないといけなかったことへ、市への不信感と不安感を抱いたことは認めません。今回の流れは、あまりにも急で、乱暴だと思います。説明会でまだ決まっていなくてはお伝えできません、と答えないといけなくらいのことしか決まっていなければ、そもそも開園、統合の時期をずらすべきではありませんか？1,2年ずらしたところで、ひがし保育園の園舎の老朽化もそれほど変わらないし、幼稚園に通う家庭は少人数なことを理解した上で望んで桜ヶ丘幼稚園を希望するわけですよね。なぜ、保育園に通わせている家庭が、どんな保育園になるかわからない不安に晒されて、環境を変えなければいけないのでしょうか。 どこの民間の事業所になるのかが決まり、どんな保育園になるのかを理解した上で転園でなければ、納得できません。令和13年度からといわず、具体的な詳細が決まり、市の準備が整ってから、0歳の申し込みを始めるよう、お願いしたいです。令和13年度からの統合に反対します。子育てしやすい街と聞いて、生駒市に家を構えましたが、このままでは子育てしにくい街でしかありません。</p>	<p>ひがし保育園の統合時期については、幼稚園の園児数が減少する中、こどもたちの集団性の確保については早急に対応が必要であるため、令和13年4月開園予定としているものです。この情報についてはできる限り事前にお知らせしますが、保育園はご家庭の事情により、毎月入所の機会があることから、事前にお知らせが行き届かない場合もあります。できる限りホームページ等での事前の周知を図ります。 令和13年から、どのような事業者が運営するどのような園なるかわからず不安というご意見については、市としても公私連携幼保連携型認定こども園として、公立幼稚園・保育園がになってきた教育・保育を引き続き担っていただけるよう、事業者の選定をしっかりと進めます。また、事業者の選定については内容が決まり次第、説明をさせていただきます。</p>	原案のとおりとします

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
11	<p>令和8年4月に未っ子をひがし保育園入園希望で申し込みをしています。過去に今回と同様の経験があります。その際は、移行前に新しい先生が半年ほど前から保育に参加し子供たちと交流しておくことでスムーズに移行することができていました。また、5歳で再編予定のため、もちものや準備方法など、子供たちが慣れているやり方のまま継続してほしいです。</p>	<p>令和9年開園の（仮称）壱分こども園では、令和6年度事業者選定が終わった時点から、協議を続けており、保護者や地域の方にご理解とご安心いただけるよう、市と運営事業者が合同で説明会を行うなどしています。また、令和8年度は新園の先生が壱分幼稚園において引継ぎを受ける予定で進めています。引き続き園の統合については、これまで園が担ってきた教育や保育の質の担保を目的に、行事や地域との関わりも含め、丁寧に行っていく予定です。（仮称）桜ヶ丘こども園を整備する際にも同様に丁寧に進めます。</p>	原案のとおりとします
12	<p>幼稚園の再編は必要で、こども園化していくことも求められることだと思います。しかし、ひがし保育園と一緒にこども園になり、さらに民営化することは反対です。</p> <p>理由としては以下の3点になります。</p> <p>①公立園が担っている役割もあると思うので、公立園は残してほしいです。</p> <p>②車の送迎が多いひがし保育園の利用者が駐車場のない桜ヶ丘幼稚園の土地では車での送迎が難しいのではないのでしょうか？</p> <p>③大規模園にするのではなく、のびのびと子どもたちが過ごせる規模の保育園、こども園であってほしいです。</p> <p>③については、ひがし保育園同様、中保育園もリズム室すらない環境なので、空いている幼稚園を利用して、園児を分散するなど、ゆとりある環境で子どもたちを預けられるようにしてほしいです。</p>	<p>俵口幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、ひがし保育園の統合による（仮称）桜ヶ丘こども園については、公立幼稚園、保育園が担っている保幼小接続事業、支援が必要な園児の受け入れ、地域との連携や保育の質の向上等の取組を引き続き進めていただくことを条件に、公私連携幼保連携型認定こども園として運営することになります。</p> <p>また、園舎の建替えを行い、教育・保育環境を整備する予定であり、併せて敷地内に駐車場を設置できるように、周辺路の状況も踏まえ検討します。</p>	原案のとおりとします
13	<p>現在ひがし保育園に子供が通っており、第二子も通わせたいと思っている者です。ひがし保育園、桜ヶ丘幼稚園、俵口幼稚園の併合について、いくつか懸念点があります。まずは、桜ヶ丘こども園になった際の、駐車場についてです。ひがし保育園と同等の台数の確保はできるのでしょうか。桜ヶ丘幼稚園は隣に小学校があり、周回は朝の登校時間は通行量を減らすため一方通行になっている部分もあります。保育園ができることにより当然に車の交通量が増えることになりすが、それに対する対策が必要であると思います。また、桜ヶ丘小学校や小学校の保護者、近隣住民には説明を行なっているのでしょうか。保育園の送迎と、小学校と間でトラブルとならなることがないようお願いします。</p> <p>次に、定員数について、桜ヶ丘こども園の定員数は現在のところ未定となっておりますが、具体的に明示してほしいです。保育園は待機児童が多く、希望の園に入れない現状があります。子ども園にするにあたり、新こども園の受け入れ人数が、桜ヶ丘幼稚園、俵口幼稚園、ひがし保育園の在園数を合わせた人数以上とならなければ、再編の意味がないと思います。それが実現できないのであれば、ひがし保育園は定員数そのままで存続させ、桜ヶ丘幼稚園と俵口幼稚園を統合させ子ども園にするべきだと思います。公立から私立となることについても懸念があります。保育士の確保はできるのでしょうか。公立幼稚園、保育園の先生方は公務員なので、その先生方が私立となった子ども園の先生にはなってくれるとは限りません。200名近くの園児を保育できる人数を揃えられるのが不安です。コスト的に民間に譲渡するほうが良いと思えません。</p>	<p>（仮称）桜ヶ丘こども園は、駐車場設置も含めて今後検討していく予定です。また、交通量が増えることについては、本基本方針の策定にあたり、生駒警察署と協議を行っており、今後、（仮称）桜ヶ丘こども園の開園に向けても引き続き協議を行いながら進めます。定員については、ひがし保育園の定員に加え、俵口幼稚園、桜ヶ丘幼稚園の園児を受け入れることが可能な定員数を設定したいと考えています。</p> <p>本市では、市の指導主事が私立園も含め市内園を訪問し、必要に応じて助言、指導を行うなどしているほか、公立私立の幼稚園・保育園・こども園が全て集まって研修会を開催するなど、公立私立が連携し、教育・保育の質の担保、向上に取り組んでいます。その上で、こども園の新設には多額の工事費が必要となることから、公私連携幼保連携型認定こども園として民間事業者の募集を行う予定です。事業者についてはプロポーザル審査を行い、しっかりと取り組みます。</p> <p>ひがし保育園の老朽化については、現時点で大きな問題とはなっていませんが、築41年が経過していることから、大規模な修繕が必要となる可能性があり、その場合には工事の間、園児をどのように保育するかという問題も発生することから、今回の（仮称）桜ヶ丘こども園への統合という方針としているものです。俵口幼稚園、桜ヶ丘幼稚園、ひがし保育園のそれぞれのこどもが、健やかに学び、育つ環境を作っていきます。</p>	原案のとおりとします

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
14	<p>①基本方針（案）13ページ以降の検討経緯において、それまで明記されていなかった桜ヶ丘幼稚園が、昨年5月作成の本基本方針案作成業務委託の仕様書（p.3）では既に「ひがし保育園」とセットで記載されていました。</p> <p>教育委員会の独立した検討事項であるはずの公立幼稚園のあり方が、市長部局側の意向（ひがし保育園の閉園・建替）を前提に、既定路線として進められたのではないかと疑念を抱きます。桜ヶ丘幼稚園（ひがし保育園）が再編対象に含まれるに至った具体的な合議の経過や、市長部局との協議内容の詳細を説明してください。</p> <p>②建物の老朽化による対策の必要性は理解しますが、数ある運営形態の中で「公私連携幼保連携型認定こども園」を選択した具体的なメリット・デメリット、および他園との比較検討結果をお示しください。また、令和12年度末の移行に伴い、在園児は環境の激変に直面します。特に保育士・教諭の総替わりは子供の心理的負担が大きいため、移行期において現職員の出向・派遣や、新旧施設間での引き継ぎ期間を設けるなど、子供の「愛着形成」や「心理的安全」を守るための具体的な継続性確保策を検討してください。</p> <p>③アンケート結果からも駐車場の需要は極めて高い一方、受入数増に伴う送迎車両の増加は、周辺の通学路の危険性を高める懸念があります。建て替えに際しては、単なる注意喚起にとどまらず、道路管理者や警察と緊密に連携し、歩車分離の徹底などのハード面、および時差送迎の推奨などのソフト面の両輪で、歩行者（特に児童）の安全を最優先した整備を要望します。</p>	<p>本市では幼稚園も保育園も教育委員会において所掌しています。</p> <p>①ひがし保育園については、本基本方針策定前から、リズム室がないことや、建物の老朽化が一定進行していることなどの課題があり、桜ヶ丘幼稚園の通園区域に所在していることも含め、桜ヶ丘幼稚園の方針と併せて検討を行ったものです。</p> <p>②公私連携幼保連携型認定こども園については、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づくもので、市町村と運営に当たる法人で協定を締結し、当該協定の定めにより、提供すべき教育・保育の内容等について一定の担保を行うことが可能な内容となっていることから、通常の民設民営による幼保連携型認定こども園とするのではなく、公私連携幼保連携型認定こども園としているものです。</p> <p>③令和9年度開園の（仮称）壹分こども園では、令和6年度事業者選定が終わった時点から、令和7年度も協議を行い、合同で説明会を行うなどしています。また、令和8年度は新園の先生が壹分幼稚園において引継ぎを受ける予定で進めています。引き続き園の統合については、これまで園が担ってきた教育や保育の質の担保を目的に、行事や地域との関わりも含め、丁寧に行ってまいります。</p> <p>周辺路の交通については、本基本方針の策定にあたり、生駒警察署と協議を行っており、今後、（仮称）桜ヶ丘こども園の開園に向けても引き続き協議を行いながら進めます。</p>	<p>桜ヶ丘幼稚園の方針の下に公私連携幼保連携型認定こども園の用語説明を追加</p>
15	<p>桜ヶ丘自治会のもので 統廃合再編は、適正規模の経営のためにはよいものと考えます。</p> <p>地元自治会といたしましては、現在も問題の多い道路状況の改善をあわせて実施をお願いするものです、谷田小明線の状況は、ご承知の通り、抜け道としての利用があり、一方通行の実施や登下校の安全指導の見守りを続けておりますが、来春に、バイパス化が完成した後にはいっそうの交通量の悪化が予想されます、さらには阪奈道路辻町インターの改良工事も重なります、そこに、桜ヶ丘幼稚園の再編により、東保育園と俵口幼稚園の統合により、送迎車の問題も加わる事と思えます</p> <p>検討済みの事と存じますが、徒歩通園だけの統合ではなく、園バスとマイカー通園の三者が重なることで、駐車場が今の敷地で確保できるのでしょうか また、経路として、図書館側か阪奈道路側道のどちらにしても、住宅地内を通行いたします 以上のことから、以下の点ご留意願います</p> <p>①送迎車の安全な乗降場所の確保 ②送迎車の通行経路の規制 ③地域周辺の交通環境の改善</p> <p>要望 ①桜ヶ丘公園前に信号機設置 ②桜ヶ丘公園以北の阪奈道路トンネル間の拡張</p> <p>提案 県営住宅跡地の利用</p> <p>等々から 警察をはじめ、県関係機関とも充分な協議検討お願いいたします</p>	<p>（仮称）桜ヶ丘こども園の整備にあたっては周辺路に一方通行路もあることから、車両も含めた園周辺の道路交通について、本基本方針の策定にあたり、生駒警察署と協議を行っており、今後、（仮称）桜ヶ丘こども園の開園に向けても引き続き協議を行いながら進めます。</p>	<p>原案のとおりとします</p>

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
16	<p>桜ヶ丘小学校の登下校や、先生方の車の往来。みなさんは卒業して大きくなれば忘れてしまうのかもしれませんが、その近くの住民はそこにいる限り一生付き合っていかなければなりません。みなさんには想像出来ないと思います。たぶん子供ファーストで、その付近の住民の気持ちをどれだけの人が想像できるでしょうか？</p> <p>先生方が当然のように、1人一台の車で通勤する。電車通勤できないもののでしょうか？ 先生方の車の間を登校する子供たち。危険ではないのでしょうか。 その後子供達が登校する。元気があってよろしいですが、登校はバラバラ、下校は一斉。その時間に帰宅したら地獄です。</p> <p>長い休みのときは、やれやれと思います。でも学童さんがいます。5時一斉に下校。 毎日のことです。仕方ないけど毎日です。</p> <p>正直、幼稚園だけでも通う子どもが少なくなって、静かになりました。しかし統合され、こども園になると、遠くから通う方の車の往来は増え、モラルの問題も課題になると思います。</p> <p>朝早くからの送迎や、暗くなってからのお迎え、とても不安です。</p> <p>でも、ダメばかりもいってられません。 便利な場所ではないので、絶対に車は増えるので、車での送迎を禁止する（自転車や徒歩）住宅街は通らない、駐車場の完備、職員や先生方の通勤方法、幼稚園なら9時～15時くらいまで我慢すればよかったけれど、こども園になると早朝から夜までになってしまう。</p> <p>学校や幼稚園の周りの環境もよくご覧になってください。大きくなった木はフェンスを突き破り、大量の落ち葉が道路を覆います。落ち葉の掃除は自治会の掃除です。 毎日お掃除してくださる方々がいらっしゃいます。</p> <p>どうぞよくお考えいただけますようお願いいたします。</p>	<p>園の周辺にお住まいとのことでご迷惑をおかけしています。 園は送迎やこどもの声などの課題もありますが、こどもたちの学びや育ちを第一に、地域の皆さまに支えていただきながら運営をしてきました。 今後、桜ヶ丘幼稚園が（仮称）桜ヶ丘こども園となることで、自家用車での送迎も発生することから、なるべく地域のかたに影響が無いよう、事業者選定からしっかりと取り組みます。 また、周辺路の交通については、本基本方針の策定にあたり、生駒警察署と協議を行っており、今後、（仮称）桜ヶ丘こども園の開園に向けても引き続き協議を行いながら進めていきます。</p>	原案のとおりとします
17	<p>桜ヶ丘こども園（仮）が私立園となった際に、入園児の選別が行われる可能性を憂慮しております。</p> <p>第一子は桜ヶ丘幼稚園を卒園し現在小学生ですが、入園前～年少時は落ち着きがなく、療育施設に週1回通所したもの本人が嫌がり2カ月で退所し、年中から加配対象としていただきました。 幼稚園は嫌がることなく3年間楽しく通園し、大きく成長しました。当時の幼保こども園課の皆さまや桜ヶ丘幼稚園の先生方には大変感謝しております。</p> <p>私立園にとって加配が必要な園児は教員の確保などコストアップになるため、3歳児での入園を断られ療育園への通所を促される可能性があります。我が子のように療育が合わない子どももいます。 仮に学区外の生駒台幼稚園や生駒幼稚園に通えたとしても年長時に桜ヶ丘小学校との交流はできず、入学時は同級生と離れることとなります。 どの子ども希望すれば学区内の園に3年間通える、教員且つ市職員として責務ある先生方に指導していただける、それが生駒市の強みであると思いきや市外から転入してきたため、校区によっては私立園しか選択肢がなくなるということは非常に残念です。 「公私連携」とありますが、どの部分が公立と同じ基準なのか、どの部分が変わるかを明確にしてください。</p>	<p>公私連携幼保連携型認定こども園については、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づくもので、市町村と運営に当たる法人で協定を締結し、当該協定の定めにより、提供すべき教育・保育の内容等について一定の質の担保が可能であること等が規定されていることから、通常の民設民営による幼保連携型認定こども園とするのではなく、公私連携幼保連携型認定こども園としているものです。 公立幼稚園、保育園が担っている保幼小接続事業、支援が必要な園児の受け入れ、地域との連携や保育の質の向上等の取組を引き続き進めていただくことを条件に、（仮称）桜ヶ丘こども園の整備運営事業者についてはしっかりと選定をしていきます。</p>	桜ヶ丘幼稚園の方針の下に注釈（公私連携幼保連携型認定こども園の用語説明）を追加

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
18	市民が必要としている保育を質・量ともに市が責任を持って提供するためにも、公立の保育園を閉鎖することには反対。保育士のなり手が不足していますが、それは保育士の待遇が良くないためであり、民間に任せてしまっただけではその待遇が更に低下してしまう可能性も高いと思います。市が保育士の待遇をしっかりと保障することが保育の質の維持・向上に繋がり、大切な子どもを預ける親の安心にも繋がります。公立園を残してください。	本市では、市の指導主事が私立園も含め市内園を訪問し、必要に応じて助言、指導を行うなどしているほか、公立私立の幼稚園・保育園・こども園が全て集まって研修会を開催するなど、公立私立が連携し、教育・保育の質の担保、向上に取り組んでいます。少子化が進行する中、国の制度も活用し、民間事業者の力も借りながら市民サービスを提供していく必要があり、ひがし保育園については民設民営の（仮称）桜ヶ丘こども園への統合としています。また、運営にあたっては、開園までに運営方針等に関して取り決められた市と運営事業者との協定に基づき、市も安心安全な運営が行われるように関与します。事業者の選定にあたっては公私連携幼保連携型という形で、教育・保育の質を担保しながら、しっかりと事業者の選定も行い進めます。	原案のとおりとします
19	公立幼稚園、保育園を無くさないでください。 コロナ禍が過ぎ、園児が増えつつある公立幼稚園を、地域から無くすのは早急すぎる。 入所希望者が多いひがし保育園を廃止、合併する本当の意図は何か。 民営化は公立としての保育の責任を放棄しているように思えてならない。	民営化に際しては、公私連携幼保連携型認定こども園として民間事業者に設置いただくことを想定していますが、設置事業者の選定や、質の担保については引き続き市が関与して進めてまいります。本市では公立幼稚園の園児数が減少し、令和7年度では市内の多くの園で年少児数が一桁になるなど、通うこどもたちの「学び」「育ち」への影響が懸念されています。また、単年度では園児数が増加したとしても、本市でも少子化が進行しており、再編の対象となっている幼稚園では、今後継続して園児数が増える見込みは現時点ではない状況です。ひがし保育園についてはリズム室がないことや、築41年と一定老朽化が進行していることもあり、このような状況の中で、引き続き安心安全な保育を提供するため、民設民営の（仮称）桜ヶ丘こども園への統合としています。	原案のとおりとします
20	保護者のアンケート結果からも、公立幼稚園は、自宅から近く、保育士さんの質の高さ、など求められていることから、地域で通える公立幼稚園、保育士さんの数・質ともに、公立で決められた人数で質の高い教育・保育が受けられるように、生駒市として、取り組んで欲しいです。 私自身も子どもと一緒に南幼稚園に通いました。公立の安い保育料で、先生にも大変お世話になりました。また子どもが怪我をしてもすぐ駆け付けられた近くの幼稚園で、とても助かりました。 今でも近くを通り、子どもたちの元気な声に励まされます。地域に公立幼稚園を又待機児童解消にもつながる子ども園化など再検討して、保護者の願いに応える、子育てに優しい生駒市であって欲しいです。宜しくお願いします。	ご指摘のとおり、現在通う園を選んだ理由としては「自宅から近い」が第1位となっていることから、近隣であることの利便性を選んでいただいていることは認識しています。今回の再編の推進にあたっては、特に公立幼稚園を引き続き選択いただく場合など自宅からの距離が遠くなるのが想定されることから、通園バスによる通園等の手段についても検討をします。また、教育・保育の質の担保については、本市では、市の指導主事が私立園も含め市内園を訪問し、必要に応じて助言、指導を行うなどしているほか、公立私立の幼稚園・保育園・こども園が全て集まって研修会を開催するなど、公立私立が連携し、教育・保育の質の担保、向上に取り組んでいます。このような現状を踏まえた上で、教育・保育の質の担保、向上を目的に、公私連携幼保連携型認定こども園として（仮称）桜ヶ丘こども園の整備運営事業者を選定したいと考えています。なお、公立・私立で給食費等の違いはあるものの、保育料については変わりありません。	原案のとおりとします
21	両親2人ともフルタイムで働いており、幼稚園の時間内には預ける事が不可能である。そのため合併して子ども園化へは賛成です。 子ども園化した場合には朝は7時から預けたり、お迎えが20時でも行けるようになると急な残業で対応しなれないといけない時などでも安心して仕事できるため、フルタイム働く世代のためにも長く見てほしい。フルタイムに限り夜遅くまで見てくれる園だと少し家から遠くても選択肢にはいるため、ぜひお迎えが21時などになっても対応して頂けると助かります。	基本方針の中では、預かり保育など多様な保護者ニーズへの対応も重要な点であり、幼稚園希望と保育園希望の両方の受け入れが可能な子ども園化が必要であるとの考えのもと、今後検討していく内容としています。	原案のとおりとします
22	預かり保育時間をやはり伸ばしていただきたいです。時短勤務でも、業務の繁忙によって17時台のお迎えが難しいときが定期的にあるので、その時に使いたいです。	基本方針の中では、預かり保育など多様な保護者ニーズへの対応も重要な点であり、幼稚園希望と保育園希望の両方の受け入れが可能な子ども園化が必要であるとの考えのもと、今後検討していく内容としています。	原案のとおりとします

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
23	<p>保育所で勤務していました。幼い子どもを連れての毎日の通園ですから、保育園にしろ、幼稚園にしろ、家から近いことが大切だと思います。あずかる職員からしても子どもや親の生活している地域の状況を把握しやすいことがより子ども理解には必要だと思います。子どもの数が減り、小規模化していくことは避けられないでしょうが、幼い子にとっては小規模も又良い環境だと思います。できるだけ廃園や統合ではなく、存続させるべきだと考えます。就学前教育に必要な集団性といわれますが、教育学的な分析がされているのでしょうか。私自身は定数が60人、90人、120人、150人の職場を知っていますが、クラスをこえ、全職員、保護者、子ども達がより深くかわかれ、知り合えるのは、60人、90人と100人以下だと実感しています。ひがし保育園に関して、利用者が今後もあるとの予測ですし、建物も現在問題なしとありますから、このまま存続でいいのでは。桜ヶ丘こども園への統合は理解できません。</p> <p>なばた幼稚園・・・近くでの開発がすすめられ、すでに入居されている状況から子育て世代が多いのがわかります。存続されることを望みます。ただ、今の子育て世代は両親とも仕事に出られているご家庭が多く（私のご近所の方でもそうです）、幼稚園ではなく保育所を希望されると思います。なばた幼稚園のこども園化を期待します。</p> <p>なばた幼稚園を公立のままこども園化ではなく、私立保育園の分園化とあるのは理解できません。経営主体がちがいが、だとすれば職員の雇用主、職員の意思統一の場などちがうのに、同じ敷地内で子ども達がすごすのはイメージできません。子どもや職員、ひいては保護者に混乱を持ち込むだけだと思います。</p> <p>保育士不足により定員まで受け入れることができていないとしながら保育士確保の方向がみえないのはどうしてでしょうか。又知り合いで保育の職場をさがしている人は、東大阪市や奈良市の方が時給がいいからとそちらで仕事についている方を数人知っています。待遇改善が必要だと思います。</p>	<p>今回実施したアンケート調査においても、現在通う園を選んだ理由の第1位は「自宅から近い」で共通していることもあり、自宅の近隣に園があってほしいというニーズがあることは理解しています。また、小規模園にはメリットがあるのご意見もありますが、1つの学年の園児数が10人以下となったり、全学年で学年当たりの園児数が15人以下となった場合は、集団性や協同性といった育ちへの課題を十分解消できなくなると考えています。（生駒市立幼稚園再編に係る方向性について：令和3年11月）</p> <p>ひがし保育園においては、築41年ということで一定老朽化しているほか、リズム室がない、といった課題があります。</p> <p>また、（仮称）桜ヶ丘こども園については、これまでの公立幼稚園が培ってきた公教育を実施するとともに、国の補助制度を活用でき、保護者ニーズにも対応した独自のプログラムやサービスを有する民間活力を活かすことができる公私連携幼保連携型認定こども園として民間事業者の募集を行う予定です。</p> <p>なばた幼稚園においては、多様な保護者ニーズに応えるため、幼稚園は存続しつつ、同園の空き教室等を活用して民間保育園やこども園がその分園として別に保育を行う形で検討をしており、動線もなるべく重ならないようにしたいと考えています。</p> <p>また、本市では様々な保育士確保の取組を継続して行っており、処遇改善につながる取組も実施していますが、充足している状況ではないことから引き続き取り組んでいきます。</p>	原案のとおりとします
24	<p>①公立幼稚園は保護者が徒歩や自転車で児童と共に通園できる距離に設置されていることが大切だと思います。児童が生活をする地域（生活圏）にあり、地域の方々と関わり、見守られて育つことは児童の人格を形成する過程でとても大切です。</p> <p>②保護者アンケートでの公立幼稚園の存続を願う声や公立幼稚園の給食実施や保育時間の延長など改善すれば希望者も増える。と保護者の建設的な意見を真摯に受け止めてください。</p> <p>③少子化で幼稚園の児童数が減少、施設も老朽化で建て替えが必要。この条件で幼稚園の統合による再編が方針化されていますが、『子どもの成長を最優先に』との生駒市の適正数ですが、0才から5才（就学前）児が大規模園で生活することに弊害がある事を考えて下さい。すべての職員が在園する園児の名前や顔を把握し、保護者のことや園児の育ちを理解できる人数は当然大規模より小規模です。”安心できる・温かさが感じられる・安全な環境を行政として守っていく立場での再検討を願っています。</p> <p>④具体の案では保育要求があり入所率も80%を超え、今後も高止まりで横ばいすると分析しているひがし保育園が統合の対象園となっていることは理解しがたいです。</p> <p>園舎の改修や建て替えがいずれ必要ですが、必要な施設の建て替え計画は別途市財政の使い方も含めて検討が必要です。</p> <p>ひがし保育園は存続させて下さい。</p> <p>⑤なばた幼稚園の空教室の有効利用として、近辺の市立保育園の分園として活用する。この（案）は、「公私連携幼保連携」は国が認めているからと生駒市もなばた幼稚園に導入する予定ですが、実際の現場では経営主体の違う乳児部門と幼児部門の保育・幼児教育が同一施設や敷地内で実施できるものではなく、実施しても大変困難で問題が現れると考えます。なばた幼稚園の通園圏は宅地造成がすすみ、児童も増え、保育要求の増加が考えられます。</p> <p>なばた幼稚園の地域協議会も願っている「なばた幼稚園」を「子ども園」にして保育要求に応じて下さい。また子ども園は公立で運営してください。</p>	<p>公立幼稚園の園児数の減少については、本市においても女性就業率が上昇し、共働き世帯が増えたことから、保育ニーズが高まり相対的に幼稚園ニーズが下がったことによるものと考えています。</p> <p>小規模園にはメリットがあるのご意見もありますが、現在再編対象園となっている園については学年で10人に満たないという状況であり、集団性や協同性といったこどもの学びや育ちの確保に課題がある状況です。</p> <p>また、ひがし保育園の統合については、リズム室がないことや、築41年と年数が経過していること等から（仮称）桜ヶ丘こども園へ統合するとしているものです。</p> <p>なばた幼稚園での私立保育園分園の設置については、ご指摘のとおり保育内容等が違うことから、それぞれの園で適切に保育を進めることができるよう、検討し進めていきます。</p>	原案のとおりとします

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
25	<p>今回の基本方針案を、公立こども園化も含めて公立幼稚園を存続する方向で、抜本的に検討し直していただきたいと思っております。なお、以下、『アンケート』としているのは2025年8月に行われた、公立幼稚園・公立保育園・認定こども園の園児の保護者、及び0歳～2歳児の保護者を対象にしたアンケートの結果を指します。基本方針案の資料編に掲載されています。このアンケート結果を真摯に受け止めるならば、今回の基本方針案は異なったものになっていくはずではないかと考えています。</p> <p>公立幼稚園の存在意義は大きいと考えます。アンケートの[公立幼稚園を選んだ理由で重視した点]で、「小学校と連携している」がほとんどの園で多数です。また、[公立幼稚園のいいところ]は、「参観や行事などを通して園での様子がよくわかる」が全体で最多、園別でも7園中4園で最多です。個別の意見でも以下のように存続を望む声が多くあります。「公立の幼稚園を残して欲しい」「できる限り維持して」「強く存続を希望。どうすればできるかを前向きに検討して」「公立幼稚園が不要なわけではないと思うので、安易に閉鎖などせず」「公立幼稚園のニーズは、園児数が減少傾向だとしても一定数は必ずある」とあります。</p> <p>公立幼稚園は、自宅から近いことが重要です。[公立幼稚園を選んだ理由で重視した点]では「自宅から近い」が7つの選択肢の中で最多。また、[入園を検討する際の重要度]では「重要」の回答が、「自宅からの距離」74.7%と14項目中3番目に多い割合になっています。個別の意見を見ても、「子どもを連れて行く事は距離、地形によっては大変」「学区内の園に通える環境を残して」「小学校区には幼稚園・こども園がひとつ以上必要」「統廃合された場合、遠方になって通うのが大変に」と自宅に近い公立幼稚園が望まれています。</p> <p>少人数のメリットもあると考えます。アンケートでも「少ないからこそ年長～年少までママ達みんな仲良く」との声があります。そもそも「1つの学年の園児数が10人以下、もしくは、全学年で学年当たりの園児数が15人以下」で再編する、という基準に科学的根拠はあるのでしょうか。</p> <p>公立こども園化も考慮していただきたい。アンケートの個別の意見では、「再編でなくなるのではなく、公立園として幼稚園のままか、保育園かこども園として残してほしい」「市内に公立こども園が増えるといい」「幼稚園をこども園にしてほしい」「幼稚園のこども園化は、かなり需要がある」など他にも多数、寄せられています。</p> <p>「子育てするなら生駒」を内実を伴った形にするため、抜本的な再検討をお願いします。</p>	<p>ご指摘いただいたとおり、アンケート調査では様々なご意見をいただいております。本基本方針の策定にあたっては参考とさせていただきます。一方で、個人のご意見としては確かに幼稚園ニーズが一定あることなどありますが、実態としては1学年で5人以下となる園もある状況です。</p> <p>また、自宅から近いという理由によって、園を選んでいただいているかたが多いということがあり、幼稚園再編を進める中で、公立園を希望されるかたが自宅から遠くなる場合については、通園バス等による送迎等についても検討していく必要があると考えています。</p> <p>公立でのこども園化については、民間事業者の設置による公私連携幼保連携型認定こども園として民間事業者の募集を行う予定です。</p> <p>本市では、市の指導主事が私立園も含め市内園を訪問し、必要に応じて助言、指導を行うなどしているほか、公立私立の幼稚園・保育園・こども園が全て集まって研修会を開催するなど、公立私立が連携し、教育・保育の質の担保、向上に取り組んでいます。</p> <p>なお、再編に係る方向性の基準については、こどもたちの学びや育ちのために適切な規模の集団を作る必要があることから、「賛成」「反対」「間を取り持つ」の3グループが必要だということも含め過去の議論の中で一つの基準として定めたものです。（生駒市立幼稚園再編に係る方向性について：令和3年11月）</p> <p>幼稚園再編については、こどもの学び・育ちの確保を最優先を進めます。</p>	原案のとおりとします
26	<p>なにかとご検討ご苦労様です。</p> <p>・再編（統廃合）の検討ですが、少子化や財政面の問題はありますが、少人数でゆきとどいた保育・教育ができるというメリットがあります。0歳児を含む乳幼児が通園にバスを使わなければならないというのは、（以前通園バス置き去り事件もあり）乳幼児の安全や保護者の生活面でマイナス面があると考えます。やはり、家の近くに（自動車をお持ちでない保護者もおられるでしょう）幼稚園や保育園があるというのが、あるべき地域の姿と考えます。</p> <p>・教員（幼稚部教諭や保育士）の確保と給与等現役世代が夢を持ち結婚・子育てができる生活できる労働条件整備を切望します。</p> <p>・たいへんかと思いますが、保護者さんの（特にしんどい条件の保護者さんの）意見や要望をきいて進めてください。</p> <p>よろしくお願いたします。</p>	<p>幼稚園では児童数が近年大きく減少しており、学年で10人に満たない園があるなど、学びや育ちにつなげるための集団性の確保が大きな課題となっております。小規模な園にはメリットもあるという意見もある一方で、望ましい規模である1クラス21人から30人を大きく下回る規模となった時はデメリットを充分解消できなくなり、こどもたちの成長にとって適切ではないと判断せざるを得ない状況です。（生駒市立幼稚園再編に係る方向性について：令和3年11月）</p> <p>その上で、①集団性の確保、②待機児童の解消、③多様な保護者ニーズへの対応の3点を満たすためには、財政的な条件も踏まえ検討する必要があり、本基本方針としてまとめています。</p> <p>通園バスについては3歳未満が使うことはありませんが、園の統廃合については、多くのかたが家の近くの園を選ばれていることを念頭に、通園方法についても検討を行い、保護者のかたや現場の先生の意見も伺いながら進めてまいります。</p>	原案のとおりとします

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
	<p>(要約抜粋) 生駒台幼稚園・なばた幼稚園・俵口幼稚園について、当初生駒市教育委員会が示した「当面引き続き、公立幼稚園として継続すること」は、適正な判断だと理解していましたが、生駒市幼稚園再編に係る基本方針(案)第二章公立幼稚園の今後の個別基本方針のP44あすか野幼稚園の方針は</p> <p>① 閉園を前提にしたものと言わなければなりません。</p> <p>② 幼稚園の先生や関係者が、どれだけ必死になって、幼稚園の存続に向け取り組みをされていたのか、その姿や努力が反映されていません。</p> <p>③ 先生や関係者の努力の中、幼稚園で活動することの楽しさを知り、教師との信頼関係や友達とのかかわりの中で、心身ともに生活経験が豊かになり、集団生活を順調に遅れるよう努力されていました。</p> <p>④ 本園は、周辺の園と再編に向けた協議を行うこととしますが、周辺の園の状況により再編が困難と判断した場合は閉園の検討を行いますと、表明されていますが、周辺の園とは、民間の保育所を前提にされているのではないのでしょうか。複数あるのなら、教えていただきたい。</p> <p>⑤ この間の市議会会議録等を閲覧していますが、この提案は、ある市議から出された提案で、市もこの提案に困惑されていたものではないでしょうか。お答えください。</p> <p>⑥ 市は、此の間、周辺の園と再編に向けた協議を、いつ頃、どの園とどんな協議やどんな話し合いがもたれたのか？その園からどんな提案がなされたのか不明です。教えていただきたい。又、園の先生方や父母などの関係者の意見聴取はされたのか、どんな意見があったのか不明です。教えていただきたい。</p> <p>⑦ 他の市の幼稚園区では、再編に係る地域協議会が、学識経験者・幼稚園・育友会・自治会・民生委員・学校評議員等の関係者が議論を重ね、各協議会が再編について、意見書を教育委員会にあげられています。何故、市立あすか野幼稚園に関して、私の知る限りは、その資料が見当たりません。もし存在するならば開示していただきたい。</p> <p>⑧ 方針(案)とは明記されず、方針としています。</p> <p>これらの協議については、保護者と対話を重ねて今後判断とします。保護者の要望があれば、・・・保護者に寄り添った対応をすると書かれていますが、後づけの感をぬぐえないと考えます。お教えいただきたい。</p> <p>生駒市教育委員会の桜ヶ丘幼稚園の方針について</p> <p>① これは、(案)ではなく、方針とされています。なぜ(案)ではないのか?説明を求めます。</p> <p>② (案)から方針に変更した、顛末について、教えていただきたい。</p> <p>③ 今後の生駒市立幼稚園のあり方について(2020年R2)では、統合にあたっては、保護者、地域及び幼稚園と十分協議することが重要と指摘しています。</p> <p>又、今後の公立幼稚園の施設規模の適正化の検討にあたっての進め方の処では、幼稚園の統合やこども園化により、地域の就学前教育・保育環境に大きな変化が生じることから、答申を策定に当たって実施したパブコメの内容を十分検討するとともに、園児の心情や保護者、地域住民の幼稚園及び就学前教育・保育に対する思い等を十分に聞き取るなどとしています。</p> <p>以上のことについて、生駒市は関係者などと十分協議を重ねてこられたのか、パブコメの内容等をどのように検討し具体的に対応、検討等されたのか、その顛末は、不明です。その顛末等教えていただきたい。</p> <p>④ 特に、当該の当事者である、桜ヶ丘幼稚園・ひがし幼稚園・俵口幼稚園のそれぞれの地域協議会等のメンバーには十分に協議を重ねてこられたのか、事前に周知し承知、納得されていたのか、又、この再編計画への意見の取りまとめを求めたのか、また具体的にどのような意見が出されたのか、教えていただきたい。</p> <p>今後の生駒市立幼稚園のあり方について(2020年R2)で述べられている中身を逸脱した方針になっているのではないのでしょうか。説明を求めます。</p> <p>市行政とは、そもそも市民の皆さんが収められた税金等で運営されるものです。</p>	<p>本基本方針は、ご評価いただいているような幼稚園教諭を中心に安心安全な幼児教育の取組を進めてきましたが、市内公立幼稚園の園児数が急激に減少していることから、こどもたちの学び・育ちの確保を最優先に、過去の経緯も踏まえ策定したものです。ただし、「生駒市立幼稚園の再編に係る方向性について」、「今後の生駒市立幼稚園のあり方について」を示した当時から少子化が急速に進み、あすか野幼稚園や桜ヶ丘幼稚園でも園児数が大幅に減少し、再編の基準となったことから、改めて教育委員会として本基本方針を策定し、過去の地域協議会で出された意見を踏まえ、示した方向性やあり方に基づき再編を進めるものです。</p> <p>あすか野幼稚園の方針について、「周辺の園」とあるのは、あすか野幼稚園の通園区域にある6園の私立幼稚園・保育園・こども園を指しています。再編に向けた協議については個別に行っていきませんが、急激な園児数の減少があり、令和11年度末を目途に閉園という方針としています。</p> <p>なお、今後も園児数の減少が続いた場合、学年当たり2～3名という状況も想定されています。そのような場合には改めて保護者のかたの意向も伺いながら検討を進めます。</p> <p>これまで、教育委員会での議論だけでなく、基本方針案の作成と並行して職員からのヒアリングや、パブリックコメント開始前後には再編の対象となる幼稚園において、学校運営協議会・学校評議員・PTA、保護者向け説明会を、ひがし保育園においても保護者会での説明の後、全体説明会を開催しました。</p> <p>なお、現時点では本基本方針は案であることから、記載している個別の園の基本方針についても案になります。</p> <p>今後、再編を進めるにあたっては保護者や、地域の方のご意見も伺いながら、こどもたちの育ちを第一により良い形となるよう進めます。</p>	

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
27	<p>生駒市教育委員会のなばた幼稚園の方針について</p> <p>① (案)ではなく、方針とされています。なぜ(案)ではないのか?説明を求めます。 (案)から方針に変更した、顛末について、教えていただきたい。 地域協議会からの提出された意見をどのように分析し受け止めているのか。説明を求めます。又、今後の生駒市立幼稚園のあり方について(2020年R2)で述べられている中身を逸脱した方針になっているのではないのでしょうか。説明を求めます。</p> <p>② 生駒市立幼稚園が私立保育園分園の方針になったのか、その顛末等を関係者に、いつ頃説明し、理解を得たのか教えていただきたい。分園の先生・父母会・等々の関係者の意見聴取や意見交換等は、どのようにされ、いつ、どのような意見等が出されたのか不明です。説明を求めます。</p> <p>③ 何故、生駒市立ではなく、私立保育園分園でなければならないのか、十分な説明がありません。そのメリット・デメリット等説明を求めます。</p> <p>生駒市教育委員会の生駒台幼稚園の方針について この示された方針は、地域協議会の意見が一定反映されたものと理解します。</p> <p>生駒市教育委員会のひがし保育園の方針について</p> <p>① ひがし保育園の今後の方針について、保育園の関係者保育士・関係する父母会・自治会などに、いつ頃誰にどんな方法で説明会やアンケート等を実施したのか。その時に示された意見の集約はされているのか教えていただきたい。</p> <p>② 『公私連携幼保連携型認定こども園』をめざすこととします。 自治体と民間法人と連携し、土地・建物の提供や運営支援を行い、幼稚園と保育所の機能を併せ持つものとされています。 「公私連携幼保連携型認定こども園」を目指すこととされていますが、幼稚園型(幼稚園に保育所機能が付いたもの)か保育所型(保育所に幼稚園機能が付いたもの)地方裁量型を検討しているのか?教えていただきたい。 幼稚園が認定こども園になっても、0~2歳児の受け入れをする義務がない。しかも、低年齢児を新たに受け入れるには、施設の整備などが必要としています。</p> <p>③ 保育所は保育時間が8時間であり、0歳児からの乳幼児の一日の大半を保育所で過ごすことから、食事やおやつ等の提供があるため、ミルクの提供、離乳食、おやつ等多様な食事の提供や昼寝・休憩の保障など、一日の生活リズムに応じた生活スタイルが必要。 しかし幼稚園は、4時間を原則としている。保育士の仕事の違いだけではなく、一日の生活スタイルも違うことが言われています。</p> <p>④保育の充実が行政に責任が問われます。国の配置基準と処遇の改善も必要だと考えますが、どのように対応されるのか、教えていただきたい。</p> <p>最後に</p> <p>1 現場の幼稚園の先生や父母など関係者の声をしっかり拾い上げ議論を重ね、市民に寄り添う、市政を進めていただきたい。</p> <p>2 教育や福祉等の分野は費用対効果で図るべき事柄ではないと考えています。</p> <p>3 特に教育は未来の生駒市のために必要な経費と位置付けていただくようお願い申し上げます。</p> <p>4 なばた幼稚園再編に係る地域協議会が当局に指摘されている事柄について。 「策定過程で地域住民、自治会への通知もなく、原案は幼稚園の削減、再編を前提として作成された案については、到底納得できないと指摘しています。 この指摘は市行政のあり方が問われる事象です。 市民を中心に据えた行政だったのか、大変厳しい指摘です。 再発防止策が求められています。</p> <p>5 各地域協議会から出された意見等は、パブコメを充実させる必要な資料です。 意見等の配布、提供が求められていると考えます。</p> <p>6 地方自治法の1条の2に、地方自治体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を担うものとする。と謳われています。 地方自治法の精神をこれからも尊重していただきますようお願い申し上げます。</p>	<p>なばた幼稚園については、今回実施したアンケート調査の中で「給食」「長時間保育」といったニーズが高かったことから、私立保育園の分園を空き教室で開設いただくことを案としています。 なばた幼稚園自体を私立保育園の分園とするのではなく、同一敷地内に私立保育園の分園を設置し、こどもたちの集団性や協働性を確保するとともに保護者ニーズにも対応することを案としています。</p> <p>(仮称)桜ヶ丘こども園については、「公私連携幼保連携型認定こども園」を目指すとしていますが、職員要件において、幼保連携型のみ幼稚園教諭と保育士資格の併有が義務付けられているため、より質の高い教育・保育サービスの提供が可能となることや、開園日等について、幼保連携型及び保育所型が11時間開園及び土曜日開園が原則であり、保育ニーズの高い保護者に対応することができることから、幼保連携型認定こども園とすることとしています。 公私連携幼保連携型認定こども園の整備にあたっては民設民営となることから、プロポーザル審査において、本市の目指す教育・保育の質を担保できる運営事業者を選定します。運営にあたっては、開園までに運営方針等に関して取り決められた市と運営事業者との協定に基づき、市も安心安全な運営が行われるように関与します。</p>	<p>原案のとおりとします</p>

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
28	<p>様々な意見があるのは承知ですが、国自体が少子高齢化であり今後も出生数が減少することが推測されます。 子供を持つ親からすれば住所地に近い幼稚園に通うことを望まれます。 それは子の小学校への進学を見据えているからです。私も子を持つ親として当時は考えて住所地に近い保育園を選びました。 しかし、子が小学校に入学すれば子は子のコミュニティを作り、出身の幼稚園や保育園だの友達との関係性は皆無です。 親がママ友と言ったコミュニティを求めるからではないでしょうか。 余談になりましたが、公立幼稚園の建て替え費用は多大な税金が使われます。 資料を見ますと桜ヶ丘子ども園に隣接の生駒台幼稚園は存続を無くして生駒台幼稚園についても統合すべきではないかと考えます。 というのも近年、生駒台地区は住宅開発はあるものの、大半は高齢の住宅街です。 同じくなばた幼稚園についても住宅開発があるものの、沓分地区であり今後も入園児童は見込めません。 古くからその地区にお住まいの方からの存続希望があるのは承知ですが、子を持つ親はわざわざ児童の少ない園に子を入園させるでしょうか。 耐震構造を含め駐車場問題を考慮すると新しい建物で児童の多い園に入園されるのではないのでしょうか。 これらの問題は市長、市議会議員の立場にも少なからず影響があると考えますが、膨大な税金を使うことよりも真に必要なか否かの決断を求めます。 また、今後も園児が見込めない園は高齢者向け施設であったり療育を必要とする児童の施設、また、市民の活動場所になれば生駒市は更に多様性かつ柔軟的な街になるのかもしれない。</p>	<p>令和7年度に実施したアンケート調査結果では、幼稚園に対するニーズが一定存在していることがわかりました。また、生駒台幼稚園については今後も一定数の園児数が見込まれていることから、建物の状況等を踏まえ、生駒台幼稚園を存続としています。 なお、再編に伴い閉園となった幼稚園跡地の活用については、施設の状況を踏まえ、地域と十分協議した上で、総合的に検討していくこととしています。</p>	原案のとおりとします
29	<p>公立幼稚園に子供を通わせている保護者です。保育園に通っていた時期もありますが、幼稚園は子どもを丁寧に見てくださり色々な体験をさせて下さいます。ただ、今の生駒市の現状ですとお弁当作りや預かり保育の短さなど、働く母親の選択肢としては上がりにくいと考えています。(幼稚園はフルタイムでは働かずパートに切り替えました。キャリアが途絶えるのでかなりの痛手でした) 幼稚園は存続して欲しいと思っているので、こども園化するなどして給食の導入、毎日の預かり保育の時間を伸ばすなどすれば3歳児以降の預け先として選択したい共働き家庭も多いと思います。我が家のように大阪市またはその付近から生駒市へ流入してくる子育て家庭が増えている今、受け入れ先として幼稚園の機能拡充や先生方の待遇改善を求めます。</p>	<p>基本方針の中では、預かり保育など多様な保護者ニーズへの対応も重要な点であり、幼稚園希望と保育園希望の両方の受け入れが可能なこども園化が必要であるとの考えのもと、今後検討していく内容としています。</p>	原案のとおりとします
30	<p>幼稚園再編は、色々な人の意見を聞いて頂き、慎重なご判断をお願いいたします。</p>	<p>本基本方針は、市内公立幼稚園の園児数が急激に減少していることから、こどもたちの学び・育ちの確保を最優先に、過去からの協議も踏まえ策定したものです。ただし、「生駒市立幼稚園の再編に係る方向性について」「今後の生駒市立幼稚園のあり方について」の当時から園児数が急激に減少し、状況が変わっていることから、本基本方針の作成にあたっては、園児数等の現状から、今後の方向性を教育委員会として示すものとして作成しています。こどもたちにとってより良い形となるよう進めます。</p>	原案のとおりとします
31	<p>幼稚園や保育園は統廃合でなく、それぞれ存続を望みます。幼児を預けて働く必要のある方々のために。</p>	<p>公立幼稚園は園児数の減少が続いており、こどもたちの学びや育ちにつながる集団性の確保が難しくなっていることから、現状の園を存続することが難しくなっている状況です。そのような状況から教育委員会として改めて調査検討の上で本基本方針案としているものです。</p>	原案のとおりとします
32	<p>未就学児を預かる所が生駒市は少なすぎます。 大阪の北摂のように、色んなところに子育てサロンを造り、そこで未就学児を預かれるようにしてほしいです。 幼稚園再編については、幼稚園の使われなくなった教室にサロンを造ることで、公立の幼稚園の存続が可能になるのではないかと考えます。 生駒市を子育てがしやすい環境にしてほしいです。</p>	<p>本市では保育園・こども園での一時預かり事業や、ファミリー・サポート・センター事業等で未就学児の預かりを実施しています。 幼稚園の再編については幼稚園運営の基礎となる園児数の減少に伴い、こどもの学びや育ちの確保を最優先に、建物の老朽化等も加味した上で検討を行い、本基本方針案を作成しました。</p>	原案のとおりとします

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
33	<p>子どもの数が減少しているのは事実のため、ある程度の園を統合・廃園するのは仕方がないと思います。ただ、様々な家庭の事情により、保育園のように、子どもが安全に過ごせる場合は、少子化対策を考慮しても必要だと思います。</p> <p>幼稚園を統廃合したことで得られる予算から、子育てを担う親が負担なく安心して預けられる場や、小学生以降へ途切れなく親子を支援する人やシステムが構築できると思います。</p>	<p>幼稚園再編にご理解いただきありがとうございます。</p>	<p>原案のとおりとします</p>
34	<p>今回の再編は、子ども達の成長発達に応じたものではなく民間活力を利用して、公的責任を果たしてないと思われる。児童数が減ったからだけで、安易に統合するのではなく、安心して預けられる小規模の保育施設が今もとられています。育児困難を抱えている方も多く、発達になんらかの障害を持っている子ども達も増えています。保育士の待遇改善と、職員の配置を公的責任で行い、地域にあった保育施設を望みます。生駒の未来のために、安上がりの大規模な子ども園にしないで下さい。</p>	<p>就学前教育・保育については、個々の成長、発達に応じて現場において実施されています。本市では、市の指導主事が私立園も含め市内園を訪問し、必要に応じて助言、指導を行うなどしているほか、公立私立の幼稚園・保育園・こども園が全て集まって研修会を開催するなど、公立私立が連携し、教育・保育の質の担保、向上に取り組んでいます。</p> <p>一方で、就学前教育の場において適切な規模の集団をつくる必要があることや、施設の老朽化等も鑑み、今回の基本方針としているものです。</p>	<p>原案のとおりとします</p>
35	<p>生駒市幼稚園再編にかかわって、幼稚園と保育所を効率化という名のもとで民営化したり、整理していくことは、保育、教育の内容の質的低下をまねき、市民のニーズに逆行していると思います。</p>	<p>本基本方針については、こどもたちの学びや育ちの確保を最優先に、保護者ニーズや、就学前教育の場において適切な規模の集団をどのように確保していくか、という観点、現状を踏まえ策定したものです。本市では、市の指導主事が私立園も含め市内園を訪問し、必要に応じて助言、指導を行うなどしているほか、公立私立の幼稚園・保育園・こども園が全て集まって研修会を開催するなど、公立私立が連携し、教育・保育の質の担保、向上に取り組んでいます。</p>	<p>原案のとおりとします</p>
36	<p>子ども達の脳の発達に悪影響が出てしまわないように、マスクを外して、子ども達を、優しく見守ってくださる先生達が多い生駒市立幼稚園に、入園させてもらう予定です。食べられない食べ物があるので、牛乳等を出される保育園等に通えません。今後も、毎日、お弁当を持っていける、生駒市立幼稚園を残してほしいです。よろしく願い申し上げます。</p> <p>京都大学付属病院で勉強した先生達が海外のお医者様の研究なども勉強されて、京都市東山区の鈴木形成外科小児科のホームページやFacebookで、アレルギー物質なるものを飲食しないほうが、肌荒れしたりしないと教えてくださっています。参考にして、よろしく願い申し上げます。</p>	<p>本基本方針については、一概に幼稚園を閉園、こども園化するものではなく、一定の幼稚園ニーズがあることを前提に、公立幼稚園も残しつつ保育ニーズへの対応も行う内容としています。</p> <p>アレルギー対応については、保育園・こども園では除去食の提供、お弁当の持参等の対応をしております、再編後についても同様の対応となります。</p>	<p>原案のとおりとします</p>

No.	意見・質問	教育委員会の考え方	修正内容
37	<p>【意見の要旨】 駅周辺の子育て実態に即した受け皿の確保と、利便性・安全性を最優先した園運営を求めます。</p> <p>【具体的な意見と理由】</p> <p>1. 「3歳の壁」の解消と駅周辺の受け皿拡充について 現在、駅周辺に小規模園が増えていますが、3歳以降の預け先が不透明なことが、第二子の出産や転職、キャリア形成への大きな不安となっています。駅徒歩圏内の居住者は、徒歩送迎と電車通勤を前提としており、誰もが自由に車を使えるわけではありません。特定園（中保育園やいこまこども園）への希望集中は目に見えており、遠方の園を割り振られれば、送迎のために生活が立ち行かなくなる家庭が出ます。 要望： 白百合幼稚園などの利便性の高い既存施設の「こども園化」を含め、駅周辺で3歳以降も確実に預けられる体制を早期に構築してください。</p> <p>2. 給食の完全実施（主食提供）の標準化について 現在、主食持参となっている園がありますが、近年の猛暑による食中毒リスクを考えると、登園中の衛生管理には限界があります。おむつのサブスク導入などの施策も重要ですが、まずは「安全な食事の提供」という基本部分の標準化を最優先すべきです。 要望： 保護者が費用を負担してでも、すべての認可園で主食を含む完全給食を実施し、子供の安全と親の負担軽減を両立させてください。</p> <p>3. 「誇り高きベッドタウン」としての市政への期待 私は、生駒の豊かな自然、落ち着いた教育環境、そして大阪への通勤利便性のバランスに惹かれ、将来の進学も見据えてこの街に移住してきました。生駒駅周辺の暮らしやすさを心から愛しています。市が「脱ベッドタウン」を掲げる意図は理解しますが、多くの市民が「ベッドタウンとしての利便性」を理由にこの街を選んで住んでいるという事実を忘れず、一つの誇りと思っただきたいです。近年、滋賀県大津市は京都の地価・物件価格上昇により子育て世帯の流入が急増し、全国待機児童ランキングを一気に駆け上げるような状況になっていると聞きます。このような状況は、大阪・生駒において発生してもおかしくないと考えております。理想の追求だけでなく、今ここで育児と仕事に励む市民の足元のニーズを直視した再編を強く望みます。</p> <p>以上でございます。我が家が毎日元気に働くことができ、また、子供も元気に育っているのは、市政のみならず、とりわけ育児に関わる部門の皆さまのご尽力のおかげと、本当に感謝しております。長文となり誠に恐縮ですが一つの意見としてご認識いただければ幸いです。</p>	<p>本市では、生駒駅周辺の保育園ニーズの高さに対応するため、小規模保育園の誘致等を積極的に行ってきました。現時点では3歳児待機は発生しておりませんが、小規模保育園からの連携施設への入園が難しいことは認識しています。このことから、今回幼稚園再編に係る基本方針の中では、比較的駅周辺に近い立地として（仮称）桜ヶ丘こども園の設置について検討を進めるものとしています。また、給食の主食提供の要望についてですが、民間園は各園個別の運営となっていることから、一律に進めることは難しいのが現状です。ベッドタウンとしてのご意見についても、本市では様々な取組を進めているところですが、ご意見として承ります。</p>	<p>原案のとおりとします</p>